

新潟県長岡市/個別避難計画策定支援システムの導入

事例概要

個別避難計画の効率的な作成を目的に
計画策定の優先度判定や計画作成の自動化を行うシステムを導入し計画策定推進。
災害対策基本法の「個別避難計画」作成の市町村努力義務化に対応。

導入前

- 地方公共団体等ニーズ：計画策定対象者(5,000名)について、自動的な策定優先度の判定（ハザード、身体状況等）と、計画作成の効率化。
- 上記ニーズの背景：災害対策基本法改正による「個別避難計画」作成の市町村努力義務化
- 防テクPF活用理由：①計画策定推進に向け効率的な対応を行いたい
②上記に向け民間企業のデジタル技術を活用したい

防テクPFで マッチング

- 防テクPF活用メリット：企業の提案を募集し、複数社のアイデアを踏まえ解決方法を模索できた。
- スケジュール：令和4年度マッチングセミナー個別相談会に参加。令和5年度予算措置及びクラウドサービスの導入。令和6年度事業化。

システム 概要



限られた時間・人員の中で真にリスクの高い人を効率的かつ効果的に特定・判別。
「個別避難計画」を、円滑かつ情報セキュリティ上安全に作成できる。

防テクPF の貢献

「個別避難計画の策定推進」に向け、対応方法の見当がつかなかった。
防テクPFを通じ複数社から情報収集・比較し、
「クラウドサービスの利用」という選択肢を発見、事業化まで実現。

